

岡山県感染症週報 2015 年 第 41 週 (10 月 5 日～10 月 11 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

◆2015 年 第 41 週 (10/5～10/11) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 39 週 2 類感染症 結核 1 名 (80 代 女)
 第 40 週 2 類感染症 結核 4 名 (30 代 女 1 名、60 代 女 1 名、80 代 男 2 名)
 5 類感染症 後天性免疫不全症候群 1 名 (40 代 男)
 第 41 週 2 類感染症 結核 3 名 (50 代 男 1 名、80 代 男 1 名・女 1 名)
 5 類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 名 (幼児 女)

■定点把握感染症の発生状況

○伝染性紅斑は、県全体で 14 名 (定点あたり 0.30 → 0.26 人) の報告があり、前週より減少しました。
 ○RS ウイルス感染症は、県全体で 36 名 (定点あたり 0.63 → 0.67 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。
 ○手足口病は、県全体で 51 名 (定点あたり 1.50 → 0.94 人) の報告があり、前週より減少しました。

1. 腸管出血性大腸菌感染症の発生は、ありませんでした。岡山県の 2015 年第 41 週 (～10/11) までの累計報告数は、59 名となっています。岡山県では、「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令し、注意喚起を図っています。手洗いなどを徹底するとともに、食品は冷蔵庫で保存し調理後はできるだけ速やかに食べる、食肉、特にハンバーグなどは中心部まで火を通すなど、感染予防に努めましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中!』をご覧ください。
2. 伝染性紅斑 (リンゴ病)は、県全体で 14 名 (定点あたり 0.30 → 0.26 人) の報告があり、前週より減少したものの、過去 10 年間の同時期と比較して最も多い状態で推移しています。地域別では、岡山市 (0.57 人)、備前地域 (0.30 人)、倉敷市 (0.18 人)、美作地域 (0.17 人) で患者の発生が報告されています。この感染症は、特徴的な症状である頬の発しんが出現する 7～10 日前に、微熱や咳などの風邪の様な症状がみられることがあり、この時期にウイルスの排出量が最も多くなります。妊娠中 (特に妊娠初期) に感染した場合は、胎児異常 (胎児水腫) や流産の危険があり、妊娠中の方は伝染性紅斑が周囲で流行している時、風邪の症状がある人に出来るだけ近づかないよう注意が必要です。
3. RS ウイルス感染症は、県全体で 36 名 (定点あたり 0.63 → 0.67 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。第 37 週からはほぼ横ばいで推移しています。地域別では、備中以外の全ての地域で患者の発生報告があり、特に倉敷市 (0.09 → 1.00 人) では定点あたり報告数が前週より大きく増加しています。2015 年第 41 週までの年齢別累計割合では、1 歳未満の乳児が全体の 46% と最も高く、ついで 1 歳が 33% の順となっています。この感染症は、大人は軽い風邪程度で軽快しますが、乳児が感染すると重症化する恐れがあります。例年、秋から冬にかけて多くの患者が報告されるため、ひきつづき今後の県内の発生状況に注意してください。また、乳児がいる家庭では、特に感染予防に努めてください。
4. 手足口病は、県全体で 51 名 (定点あたり 1.50 → 0.94 人) の報告があり、前週より減少しました。地域別では、2 週連続で増加した備北地域 (3.00 人) で定点あたり報告数が最も多くなっており、ついで倉敷市 (1.36 人)、岡山市 (0.86 人) の順となっています。県全体の患者報告数は減少していますが、患者の発生は続いていますので、ひきつづき、うがいや手洗い、手指の消毒を励行するなど感染予防に努めましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★	水痘		★
手足口病		★★	伝染性紅斑		★★★★★
突発性発疹		★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		★★
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 前週からの推移：
 : 2 倍以上の減少 : 1.1～2 倍未満の減少 : 1.1 未満の増減
 : 1.1～2 倍未満の増加 : 2 倍以上の増加

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

空白:発生なし ★: 僅か ★★:少し ★★★:やや多い ★★★★:多い ★★★★★:非常に多い

保健所別報告患者数（定点把握）2015年 41週

（2015/10/05～2015/10/11）

2015年10月15日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2	0.02	—	—	1	0.06	—	—	—	—	1	0.17	—	—	—	—
RSウイルス感染症	36	0.67	16	1.14	11	1.00	1	0.10	—	—	4	1.00	1	0.50	3	0.50
咽頭結膜熱	5	0.09	2	0.14	3	0.27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	0.41	3	0.21	10	0.91	5	0.50	1	0.14	—	—	—	—	3	0.50
感染性胃腸炎	220	4.07	36	2.57	63	5.73	54	5.40	14	2.00	19	4.75	10	5.00	24	4.00
水痘	9	0.17	1	0.07	2	0.18	1	0.10	4	0.57	—	—	—	—	1	0.17
手足口病	51	0.94	12	0.86	15	1.36	7	0.70	—	—	12	3.00	—	—	5	0.83
伝染性紅斑	14	0.26	8	0.57	2	0.18	3	0.30	—	—	—	—	—	—	1	0.17
突発性発疹	18	0.33	5	0.36	3	0.27	3	0.30	3	0.43	—	—	1	0.50	3	0.50
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	2	0.04	—	—	2	0.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	33	0.61	10	0.71	5	0.45	—	—	—	—	4	1.00	3	1.50	11	1.83
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	6	0.50	1	0.20	4	1.00	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	1	0.20	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	1	0.20	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（－： 0 or 0.00） （空白： 定点なし）

保健所別報告患者数（発生レベル設定疾患）2015年 41週

（ 2015/10/05～2015/10/11 ）

2015年10月15日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2	0.02	—	—	1	0.06	—	—	—	—	1	0.17	—	—	—	—
咽頭結膜熱	5	0.09	2	0.14	3	0.27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	0.41	3	0.21	10	0.91	5	0.50	1	0.14	—	—	—	—	3	0.50
感染性胃腸炎	220	4.07	36	2.57	63	5.73	54	5.40	14	2.00	19	4.75	10	5.00	24	4.00
水痘	9	0.17	1	0.07	2	0.18	1	0.10	4	0.57	—	—	—	—	1	0.17
手足口病	51	0.94	12	0.86	15	1.36	7	0.70	—	—	12	3.00	—	—	5	0.83
伝染性紅斑	14	0.26	8	0.57	2	0.18	3	0.30	—	—	—	—	—	—	1	0.17
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	2	0.04	—	—	2	0.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	33	0.61	10	0.71	5	0.45	—	—	—	—	4	1.00	3	1.50	11	1.83
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	6	0.50	1	0.20	4	1.00	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2015年 第41週 2015/10/05～2015/10/11)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	36	2	9	15	4	2	3	1	－	－	－	－	－	－	－
咽頭結膜熱	5	－	－	2	1	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	－	1	－	1	－	4	4	2	3	2	1	3	－	1
感染性胃腸炎	220	5	20	32	30	19	17	12	8	9	6	7	19	7	29
水痘	9	－	－	3	－	2	1	1	－	－	－	－	2	－	－
手足口病	51	1	2	10	16	6	5	2	2	2	3	1	－	－	1
伝染性紅斑	14	－	－	2	－	1	4	3	3	－	－	1	－	－	－
突発性発疹	18	1	7	9	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
百日咳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	2	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－
流行性耳下腺炎	33	－	1	2	7	5	4	3	2	5	2	－	2	－	－

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	2	-	-

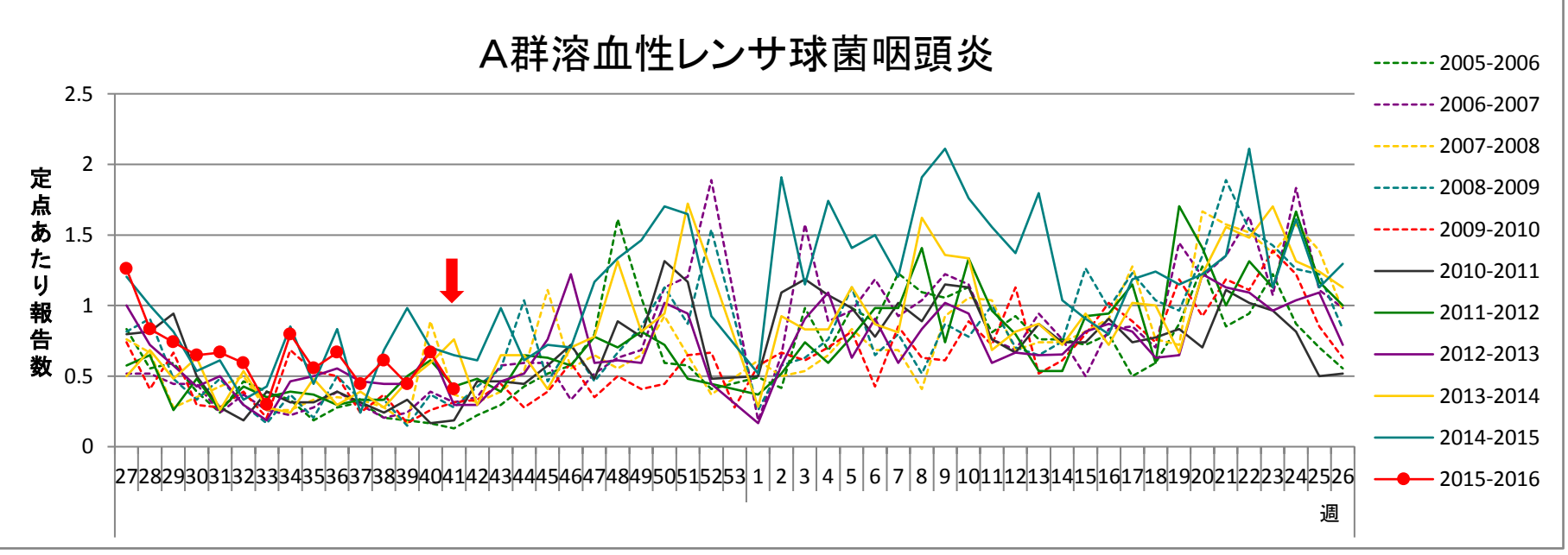
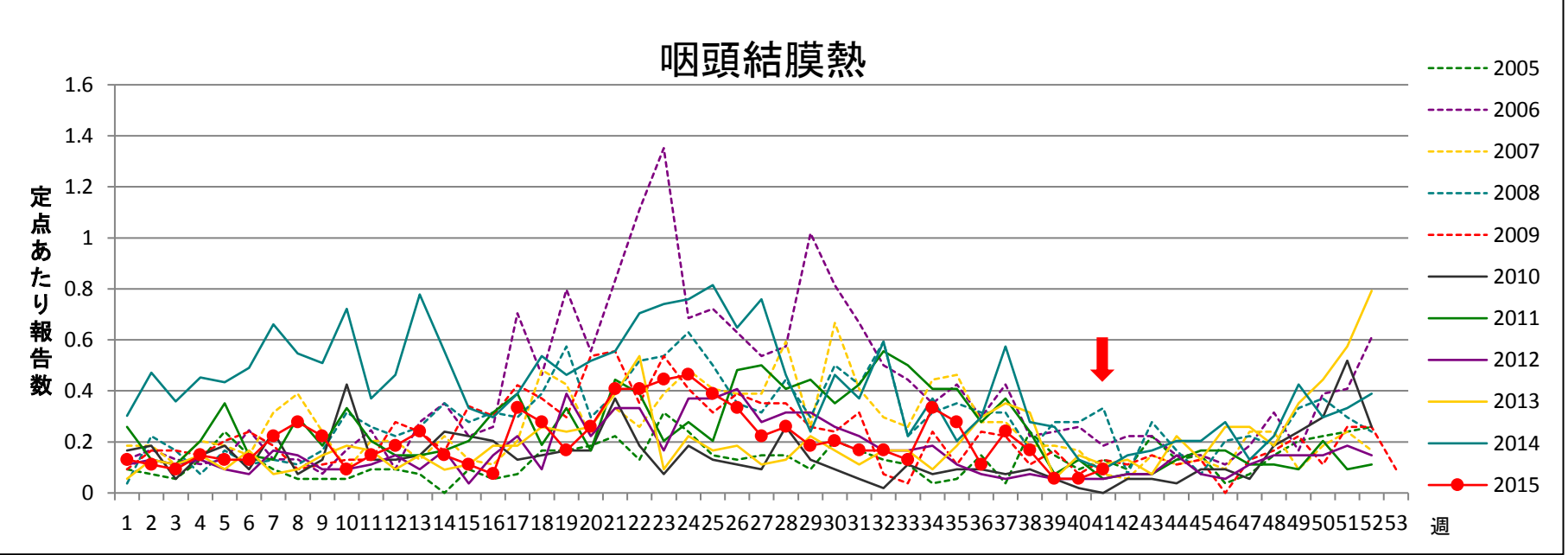
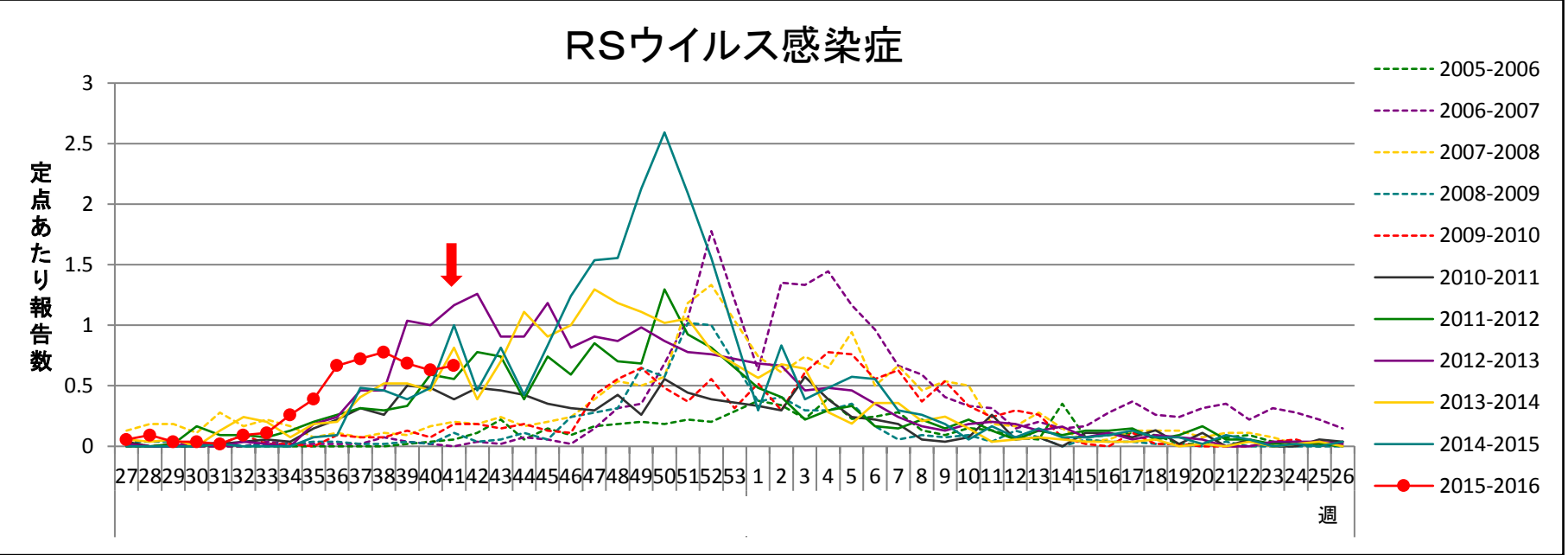
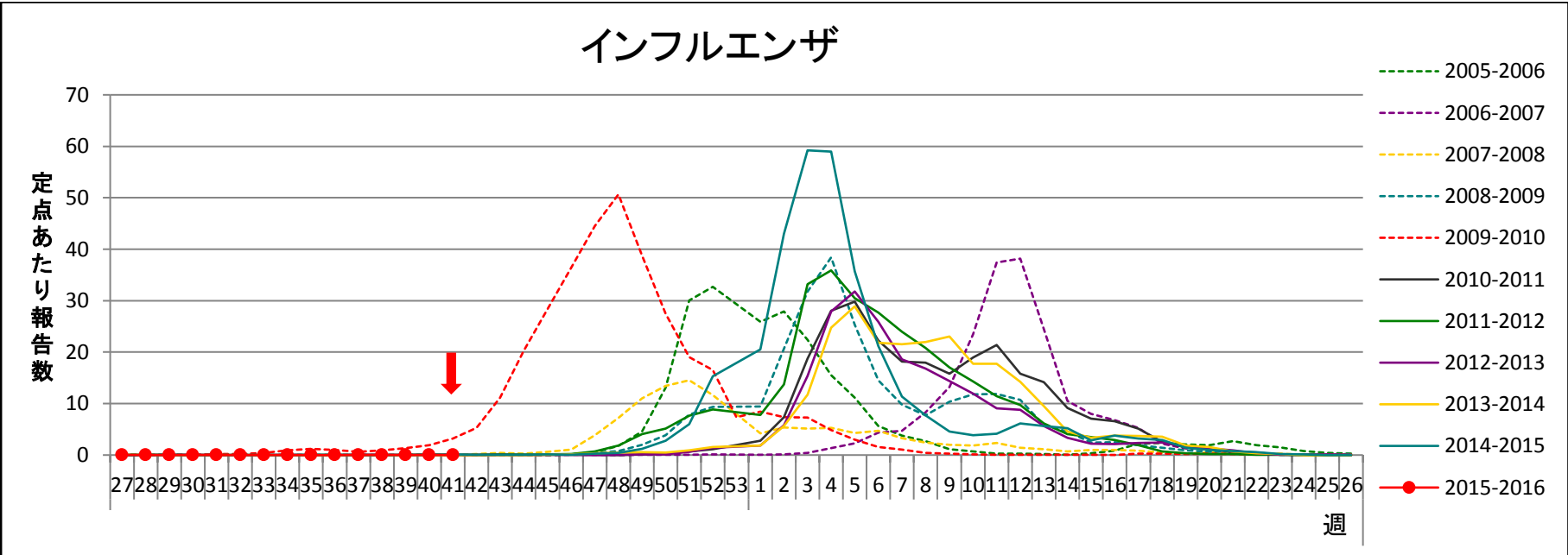
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

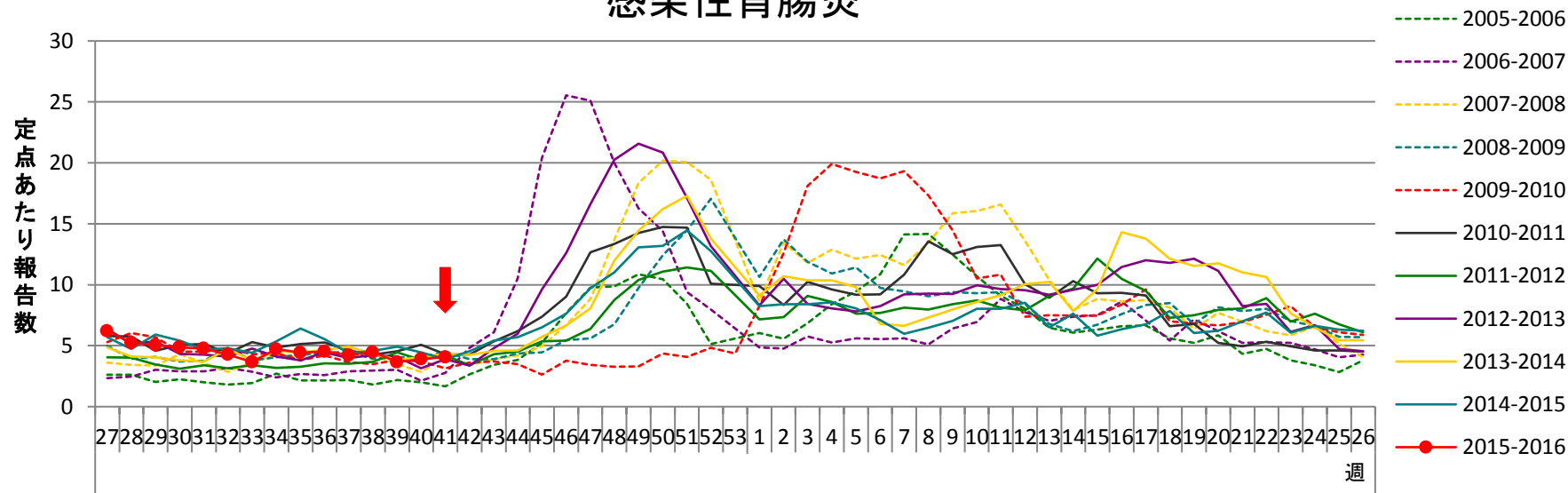
全数把握 感染症患者発生状況

2015 年 41 週

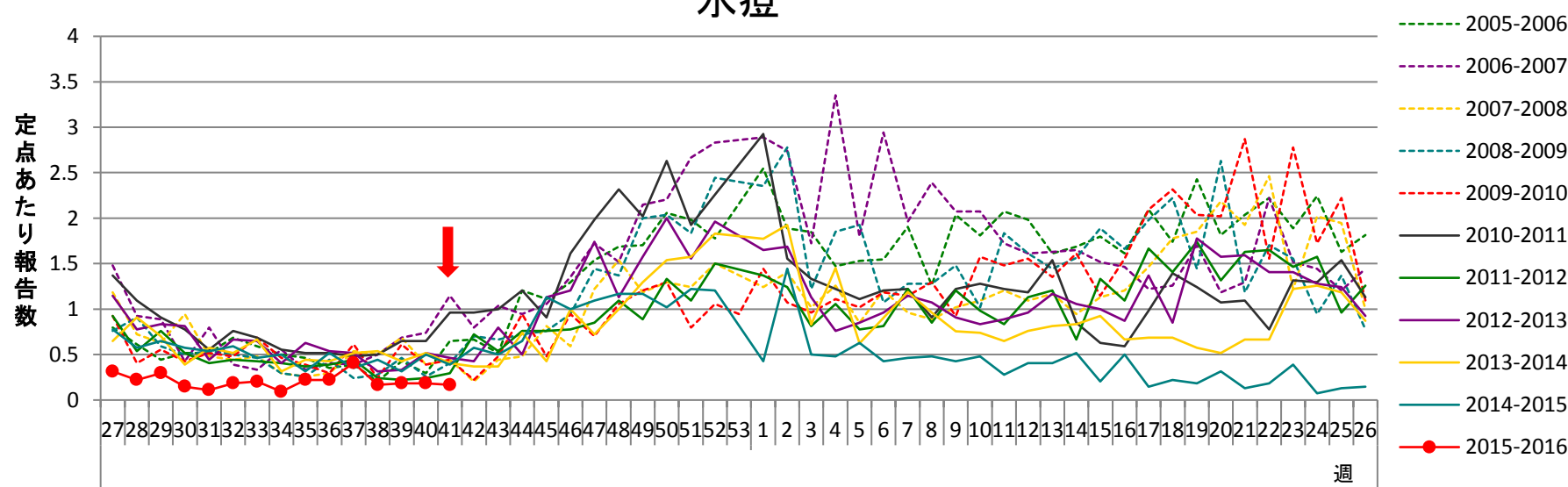
分類	疾病名	2015		2014	疾病名	2015		2014	疾病名	2015		2014
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	3	275	384	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	1	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	59	71
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	3	2	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	6	8
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	1	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサナル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	2	腎症候性出血熱	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-
	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	2	デング熱	-	-	1
	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	4	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-
	ボツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	2	-	野兔病	-	-	-
	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	22	32	レプトスピラ症	-	-	-
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	15	12	ウイルス性肝炎*3	-	7	7	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	-	26	12
	急性脳炎*4	-	11	9	クリプトスポリジウム症	-	1	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	1	3	後天性免疫不全症候群	-	18	21	ジアルジア症	-	2	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	2	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	侵襲性肺炎球菌感染症	1	25	27
	水痘(入院例に限る。)	-	4	6	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	13	21
	播種性クリプトкокクス症	-	1	1	破傷風	-	-	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	2	風しん	-	-	2	麻しん	-	-	6
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-		-	-	-		-	-	-



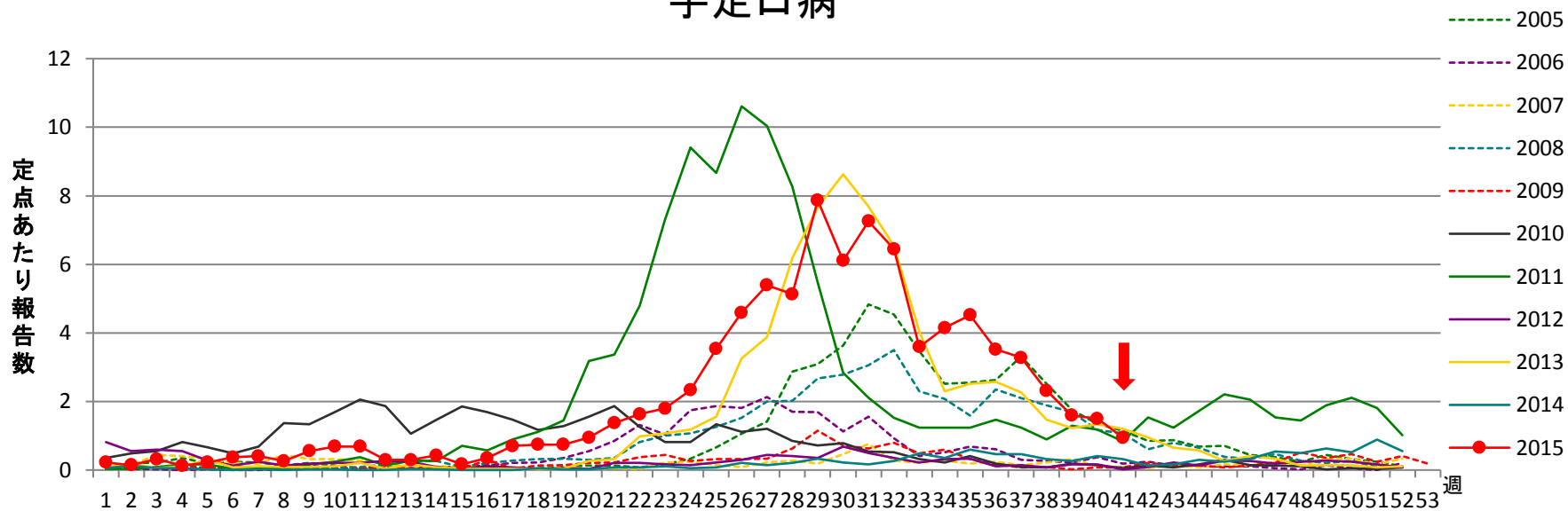
感染性胃腸炎



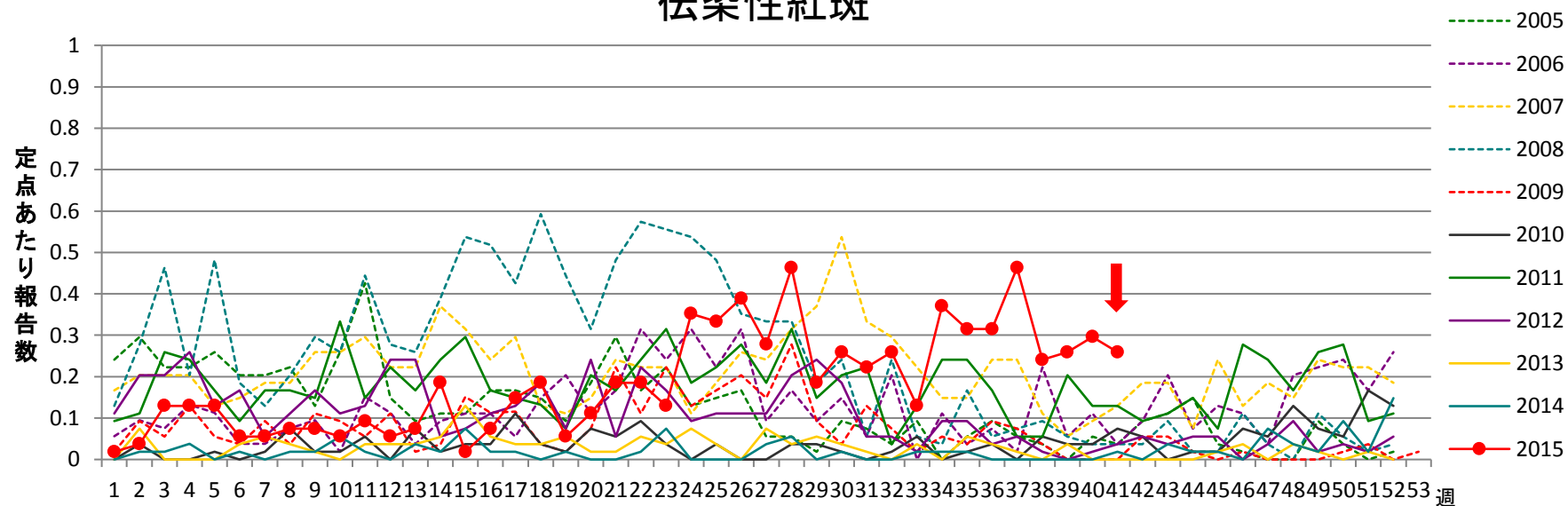
水痘



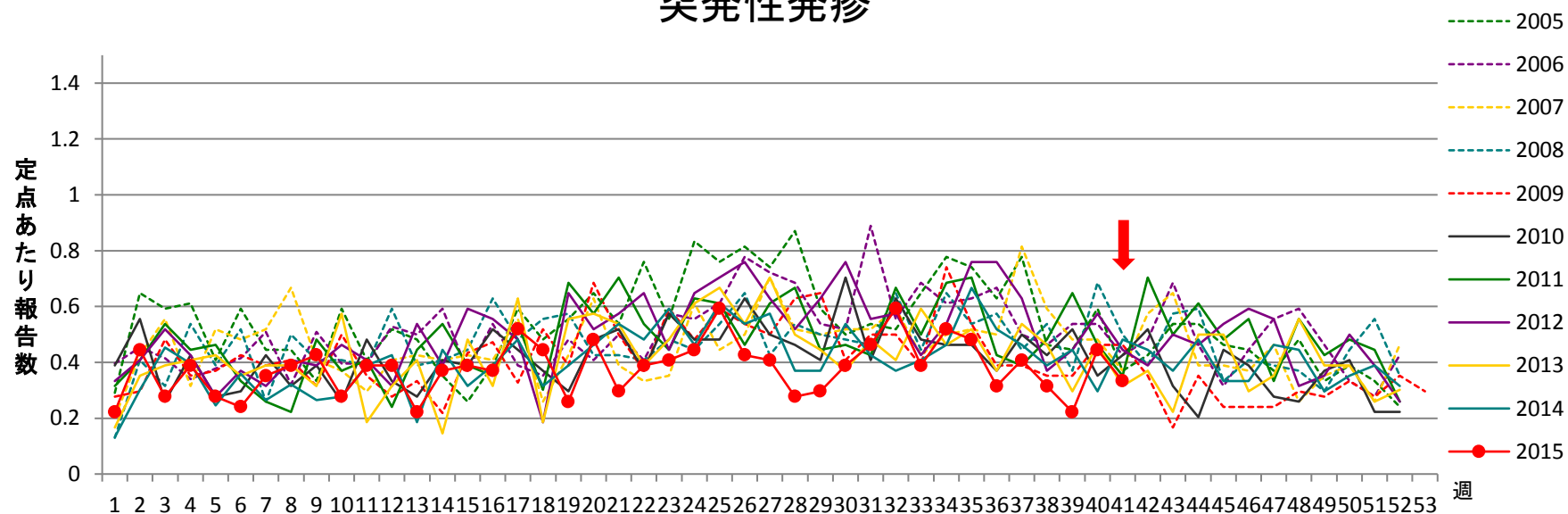
手足口病



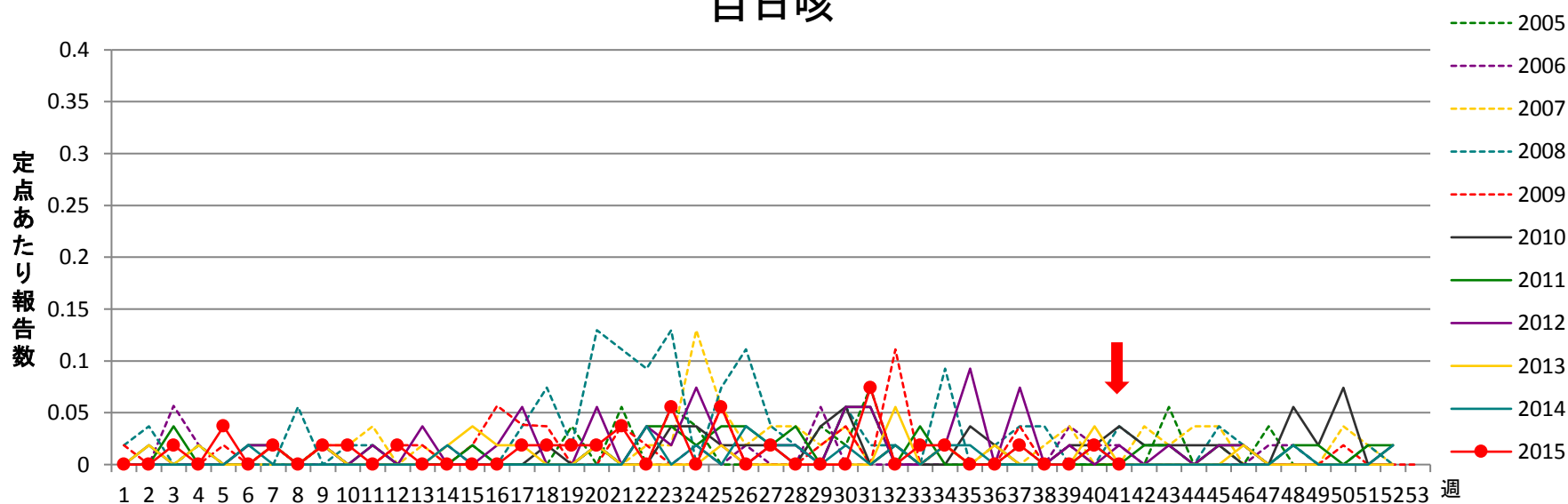
伝染性紅斑



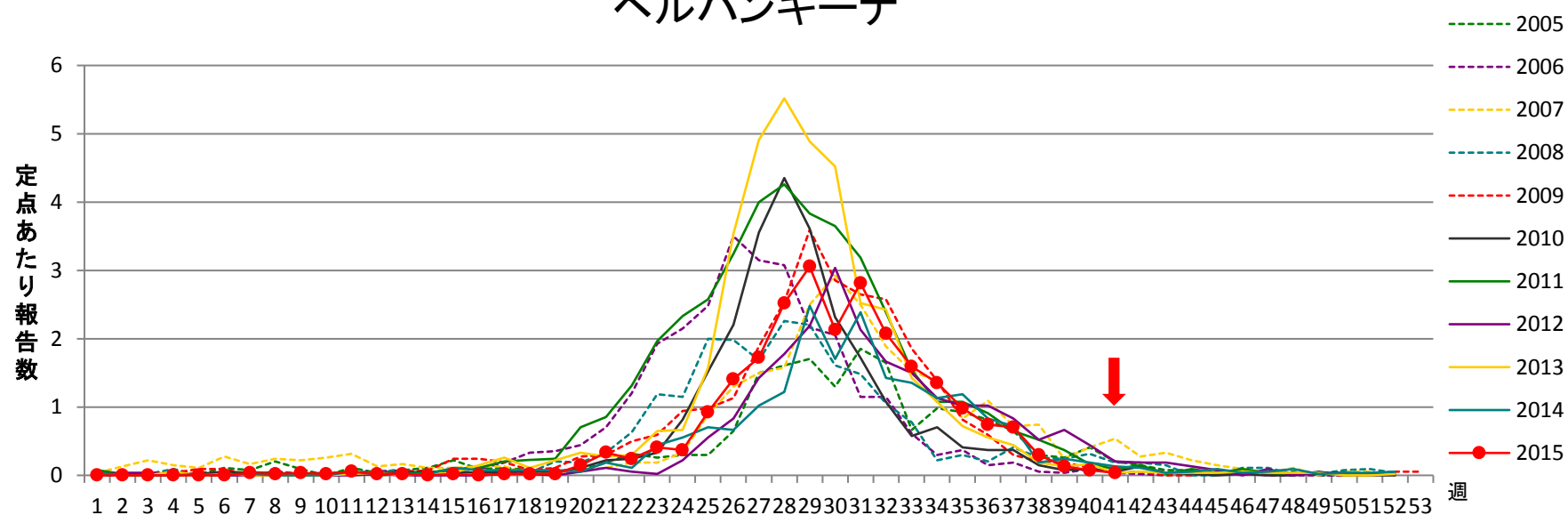
突発性発疹



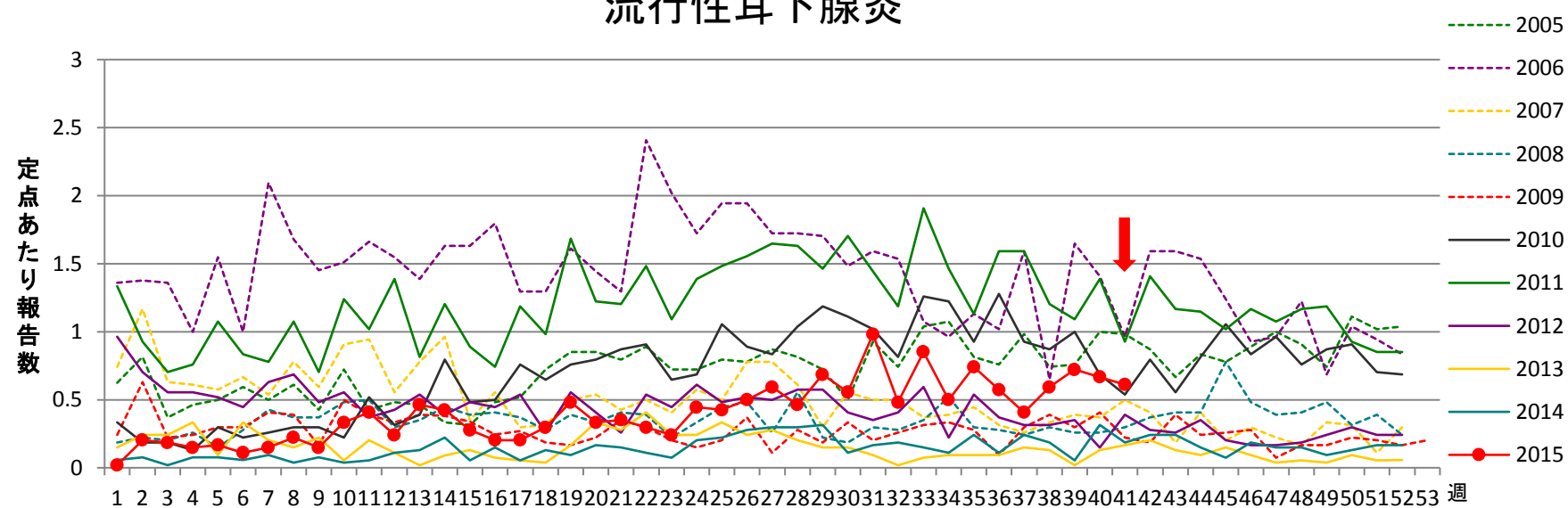
百日咳



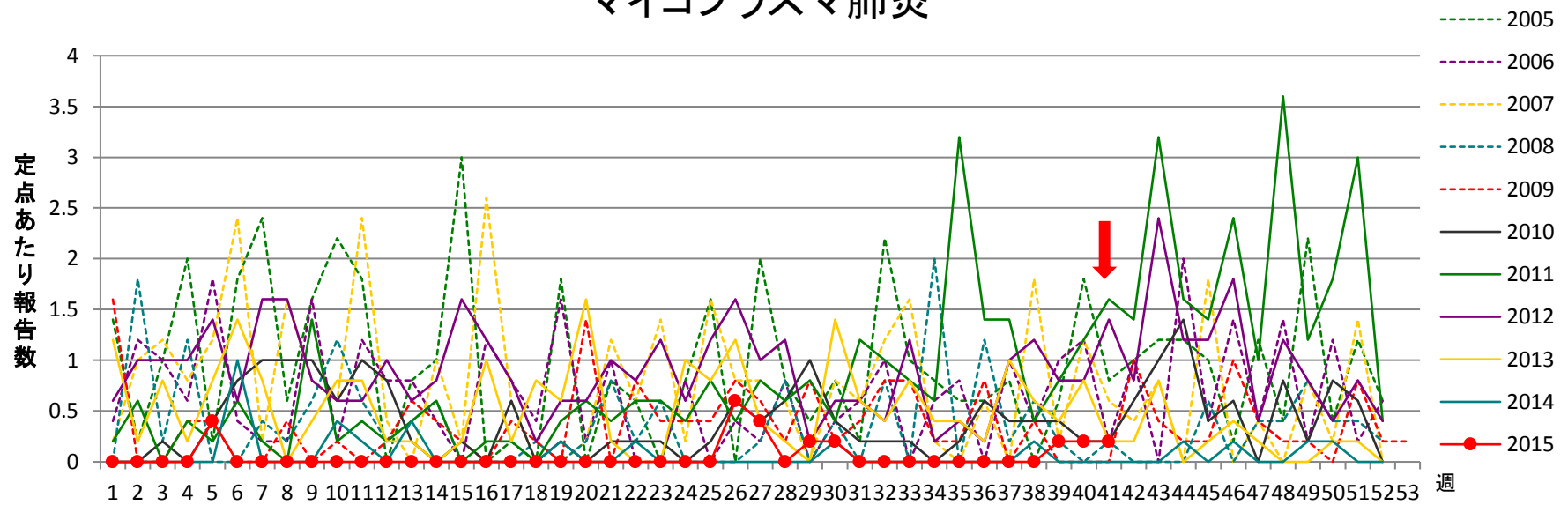
ヘルパンギーナ



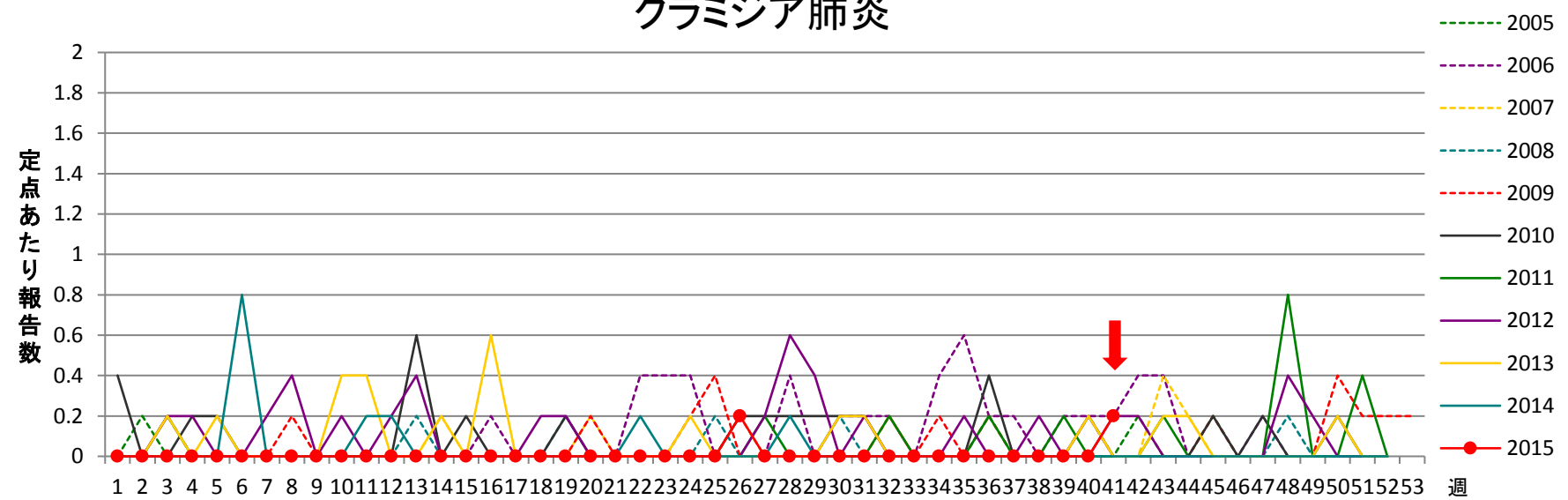
流行性耳下腺炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

